社会資本総合整備計画　　事後評価書

令和08年07月30日

計画の名称	和歌山市つつじが丘総合公園整備計画（防災・安全）（重点計画）												
計画の期間	令和０５年度　～　令和０６年度　(2年間)									重点配分対象の該当	○		
交付対象	和歌山市												
計画の目標	沿岸部は、最大10mの津波浸水想定地域である西脇地区で、津波被害のない高台に、一時避難地を兼ねた安全・安心な公園を整備する。 また、平常時は、多世代がスポーツを通じて交流できる公園として整備を行う。												
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）	581	A	581	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		（R5当初）		（R6末）
1	防災公園の整備により、災害時に避難可能となる人数を増やす。			
	防災公園の整備により、災害時に避難可能となる人数の増加。 （和歌山市の基準により、避難面積が3㎡/人必要とする。）	0人	人	27069人

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

案件番号：　0000774903

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市区町村名／港湾・地区名	事業実施期間（年度） R05	R06	R07	R08	R09	全体事業費（百万円）	費用便益比	個別施設計画策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	和歌山市	直接	和歌山市	－	－	都市公園事業（つつじが丘総合公園）	公園施設の新設及び改修	和歌山市	■	■				581	2.07	－
											小計						581		
											合計						581		

案件番号： 0000774903

事　後　評　価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
和歌山市	令和７年度
	公表の方法
	和歌山市のホームページにおいて公表

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	津波被害のない高台に、一時避難地を兼ねた公園を整備ができたとことで、当該公園全体で２７，０６９人の屋外避難人員が避難可能となった。 令和７年に発生したロシア・カムチャッカ半島付近の地震に伴う津波警報時に、多くの一時避難民を受け入れることができた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	公園としての機能も向上したことで、公園利用者の増加に寄与した。

○特記事項（今後の方針等）

緊急時における機能発揮や誰もが安心して利用できる公園を目指し、都市公園法に基づいた適切な維持管理に努めていく。

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	防災公園の整備により、災害時に避難可能となる人数を0→27,069人とする		
	最　終 目標値	27069人	
	最　終 実績値	27069人	

案件番号：0000774903